

第 129 回番組審議会 2025 年 5 月 9 日(金)開催

[出席委員]

井野瀬 久美恵 委員長、小松 陽一郎 副委員長、
北川 チハル 委員、高見 孔二 委員
橋爪 紳也 委員、原 美和 委員、
松山 秀明 委員、中西 悠子 委員、
龍沢 正之 委員、

[当社側出席者]

塩浜 昭男 代表取締役社長
三好 康嗣 常務取締役 編成局長
名取 亮介 編成部長
稲江 一浩 編成部プロフェッショナル
山下 めぐみ 事務局長

議事の概要

- 1) 塩浜社長より、新任として就任のご挨拶など。
- 2) 三好常務より、4 月～6 月編成について説明。
- 3) 審議の課題番組について、委員からのご意見・ご質問をいただき、それに対して制作側から回答

審議課題

『i o L E A G U E 2025 ～ S P E C I A L E D I T I O N 』

[2 0 2 5 年 4 月 7 日(月) 19 時 00 分～20 時 00 分放送]

各委員からの主なご意見

評価すべき点

- ・ボウリングは、スカイ A で長らくやっている番組ではあるがプロのボウリングの投球を初めてじっくり見ることができ華麗なフォーム、さまざまなフォーム、ボールの動きなどの魅力に感動した。
- ・本来、個人競技であったものを団体競技化したことにより新たに生じた見どころがたくさんあって良かった。
- ・男女混合のリーグ戦ということで、チームの様々な年齢層の選手の組み合わせも面白く、

試合そのものをメインにはせず、ドキュメンタリー番組にしたこと、例えば投球後に選手と同じ目線でカメラをとらえることで選手の生き生きとした表情が伝わってきた。

- ・試合中の距離感が近く、他の競技にはない臨場感があって良かった。
- ・団体戦ということで、個人戦にはない緊張感があった。
- ・キャプテンの裁量や戦術、助言などにより流れも変わっていくなど、チームワークの重要性があるのだと感じ、試合以外にもチーム対抗戦の面白さを楽しむことができた。
- ・ルールも分かりやすく、スコアや選手情報などの画面表示も分かりやすく見やすかった。
- ・密着取材の成果か、選手たちがとても楽しそうにしている様子が伝わり、番組の魅力につながっていた。
- ・ダイジェストということもあり、テンポよく視聴でき、1時間という時間を感じなかった。
- ・試合前後のインタビューを担当しているディレクターが大変ボウリングに詳しく、選手の情報もきちんと把握・理解しているので、そういった部分に好感が持てた。

気になった点

- ・冒頭の参加チームの紹介部分はかなり長かったのではないかな。もう少し工夫する必要がある（例えば、1ゲーム目が終わった後に挟み込む等、構成の部分に工夫が必要）。
- ・ルールの説明が、わかりやすい部分と分かりづらい部分があった。
- ・実際に、i o L E A G U E というリーグを立ち上げたプロセスについてももう少し詳しく説明が欲しかった。
- ・解説者には、従来の個人戦との違い・難しさ・面白さをもっと強調してほしい。
- ・ボウリングというスポーツが現状としてどうなっているのか、例えばプロテストであったり、ボウリングそのものをやっていることによる年収等といった情報も入れて欲しかった。
- ・番組の中で専門用語がたくさん出てきて、それに関する解説があまりなかったが、それはいい意味で素人の視聴者を置いてきぼりにしている心地良さを感じた。
- ・様々な中継で、解説者が専門用語を発するたびに、たくさんの説明が字幕で説明することが多くなっているが、説明のし過ぎである部分もある。マニアックに試合を見せるところがあってもいいと思うし、その方が抗議に対して興味がわく。その意味でこの番組は面白く見ることができた。

こうした各委員のご意見を弊社制作者とも共有し、今後の番組制作の参考とし、更なる番組の質の向上に努めたいと思います。